

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第62期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	田中精密工業株式会社
【英訳名】	TANAKA SEIMITSU KOGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岩井 逸雄
【本店の所在の場所】	富山県富山市新庄本町二丁目7番10号
【電話番号】	076(451)7651(代表)
【事務連絡者氏名】	営業企画部事業管理ブロックブロックリーダー 稲垣 浩靖
【最寄りの連絡場所】	富山県富山市新庄本町二丁目7番10号
【電話番号】	076(451)7651(代表)
【事務連絡者氏名】	営業企画部事業管理ブロックブロックリーダー 稲垣 浩靖
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第1四半期 連結累計期間	第62期 第1四半期 連結累計期間	第61期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (千円)	7,116,111	10,968,263	36,373,050
経常利益又は経常損失 () (千円)	345,099	427,156	631,527
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失 () (千円)	262,417	215,632	235,341
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	305,342	117,482	124,318
純資産額 (千円)	17,464,926	17,842,280	17,802,510
総資産額 (千円)	41,611,178	43,613,192	43,340,222
1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は1株当たり四半期純損失金額 () (円)	26.88	22.09	24.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	34.6	33.8	34.1

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第61期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第62期第1四半期連結累計期間及び第61期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、当社の連結子会社であった田中自動車部品工業株式会社、田中プレス工業株式会社及び田中技研工業株式会社は、平成24年4月1日付で当社と合併したため、当第1四半期連結会計期間をもって連結の範囲より3社が減少しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などにより、企業収益は持ち直してきているものの、欧州の財政危機を背景とした海外経済の先行きへの懸念や円高の長期化など、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

主要取引先である自動車業界では、震災やタイの洪水影響により寸断されたサプライチェーンや、被災した完成車工場の復旧、また、新興国市場の拡大や米国市場の復調、国内エコカー減税延長や補助金の復活などにより、生産台数は震災前に比べ増加しております。

このような状況にあって当社グループは、国内では「将来を見据えた事業構造の改革」を図るため、製造子会社統合などボトム体質への構造的深化や、新機種取り込みに向けた開発や生産の体制・体質強化を、海外では、米国において受注した新規ロッカーアームの量産開始や、拡大するアセアン市場に追従するための能力拡充、新たに稼働するタナカオートパーツインディア・プライベート・リミテッドのスムーズな立上げなど「新興国に負けないモノづくり体質の構築」を目指し、重点施策に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては、アセアン向け2輪部品の減少はありましたものの、日本・米国での復調並びに新興国市場の拡大により、4輪部品は大幅に増加し、10,968百万円（前年同期比54.1%増）となり、損益につきましては、増収効果や全社を挙げての原価低減努力により、営業利益425百万円（前年同期は355百万円の営業損失）、経常利益427百万円（前年同期は345百万円の経常損失）、四半期純利益215百万円（前年同期は262百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

売上高につきましては、北米向けロッカーアームをはじめ、4輪主要製品が増加し、6,298百万円（前年同期比47.3%増）となり、127百万円のセグメント利益（前年同期は600百万円のセグメント損失）となりました。

米国

売上高につきましては、北米市場の回復によりロッカーアームが増加し、3,324百万円（前年同期比173.5%増）となり、148百万円のセグメント利益（前年同期比1,179.6%増）となりました。

タイ

タイ子会社タナカ・プレジジョン（タイランド）カンパニーリミテッドの第1四半期累計期間が1月1日から3月31日のため、同セグメントにおける洪水影響は大きく、売上高につきましては、完成車メーカーの大幅な生産台数の減少に伴う4輪部品の減少により、1,344百万円（前年同期比17.3%減）となり、53百万円のセグメント利益（前年同期比64.2%減）となりました。

インド

売上高につきましては、生産開始予定が平成25年1月のため発生しておりませんが、設立費用等により17百万円のセグメント損失となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、255百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 従業員数

当第1四半期連結累計期間における従業員数の状況は以下のとおりであります。

当社は、連結子会社であった田中自動車部品工業株式会社、田中プレス工業株式会社及び田中技研工業株式会社と、平成24年4月1日付で合併したため、当社の従業員数は、913名（前事業年度末比179名増）となっております。なお、当社及び被合併会社は同一（日本）セグメントに属しており、「日本」セグメントは1,117名（前連結会計年度末比12名増）となっております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,640,000
計	32,640,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,763,600	同左	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,763,600	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	9,763,600	-	500,190	-	324,233

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,760,500	97,605	-
単元未満株式	普通株式 400	-	-
発行済株式総数	9,763,600	-	-
総株主の議決権	-	97,605	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
田中精密工業株式会社	富山県富山市新庄本町二丁目7番10号	2,700	-	2,700	0.03
計		2,700	-	2,700	0.03

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,348,383	4,426,629
受取手形及び売掛金	5,778,966	6,086,740
有価証券	72,217	72,237
商品及び製品	1,923,728	1,864,087
仕掛品	1,891,607	1,859,487
原材料及び貯蔵品	2,514,958	2,792,276
その他	592,824	691,276
貸倒引当金	382	382
流動資産合計	17,122,304	17,792,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,188,000	5,265,553
機械装置及び運搬具(純額)	7,013,612	13,158,375
土地	2,538,969	2,553,393
その他(純額)	7,267,701	947,302
有形固定資産合計	22,008,283	21,924,624
無形固定資産		
その他	192,252	190,559
無形固定資産合計	192,252	190,559
投資その他の資産		
投資有価証券	2,786,280	2,385,254
その他	1,269,201	1,358,501
貸倒引当金	38,100	38,100
投資その他の資産合計	4,017,382	3,705,655
固定資産合計	26,217,918	25,820,839
資産合計	43,340,222	43,613,192

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,128,430	3,261,669
短期借入金	4,735,474	5,079,762
1年内返済予定の長期借入金	1,607,372	1,578,504
未払法人税等	25,009	163,087
引当金	16,000	6,975
その他	4,776,269	5,046,551
流動負債合計	14,288,556	15,136,548
固定負債		
長期借入金	7,793,391	7,280,691
退職給付引当金	1,783,576	1,834,585
資産除去債務	54,596	54,649
その他	1,617,592	1,464,437
固定負債合計	11,249,155	10,634,363
負債合計	25,537,712	25,770,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,190	500,190
資本剰余金	324,233	324,233
利益剰余金	14,060,930	14,237,519
自己株式	2,568	2,568
株主資本合計	14,882,784	15,059,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	989,733	723,130
為替換算調整勘定	1,090,472	1,042,493
その他の包括利益累計額合計	100,739	319,363
少数株主持分	3,020,464	3,102,269
純資産合計	17,802,510	17,842,280
負債純資産合計	43,340,222	43,613,192

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,116,111	10,968,263
売上原価	6,432,707	9,343,065
売上総利益	683,404	1,625,197
販売費及び一般管理費	1,038,481	1,199,840
営業利益又は営業損失()	355,077	425,357
営業外収益		
受取利息	293	477
受取配当金	10,907	10,964
スクラップ収入	27,009	32,942
受取補償金	-	21,309
その他	11,889	12,595
営業外収益合計	50,099	78,290
営業外費用		
支払利息	34,535	66,198
その他	5,587	10,291
営業外費用合計	40,122	76,490
経常利益又は経常損失()	345,099	427,156
特別利益		
固定資産売却益	-	221
特別利益合計	-	221
特別損失		
固定資産売却損	36	36
固定資産除却損	288	9,532
貸倒引当金繰入額	1,950	-
特別損失合計	2,275	9,569
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	347,375	417,808
法人税等	141,357	144,072
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	206,017	273,736
少数株主利益	56,399	58,103
四半期純利益又は四半期純損失()	262,417	215,632

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	206,017	273,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,819	265,574
為替換算調整勘定	76,505	109,320
その他の包括利益合計	99,325	156,253
四半期包括利益	305,342	117,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338,245	722
少数株主に係る四半期包括利益	32,902	118,205

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

連結の範囲の重要な変更

平成24年4月1日を合併期日として、連結子会社田中自動車部品工業株式会社、田中プレス工業株式会社及び田中技研工業株式会社を吸収合併したため、当第1四半期連結会計期間をもって連結の範囲より3社が減少しております。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ7,670千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

四半期連結会計期間に係る法人税等については、当第1四半期連結会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

従業員の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
従業員12名	9,508千円	従業員13名	11,341千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	707,341千円	773,865千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	58,565千円	6円	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	39,043千円	4円	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ国	計
売上高				
外部顧客への売上高	4,275,405	1,215,373	1,625,333	7,116,111
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	4,275,405	1,215,373	1,625,333	7,116,111
セグメント利益又は損失()	600,483	11,636	148,451	440,395

なお、参考までに記載すると事業の種類別の状況は次のようになります。

(単位:千円)

	自動車部品製造事業	自動車販売事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	6,173,729	942,382	7,116,111	-	7,116,111
事業の種類間の内部売上高又は振替高	-	3,271	3,271	(3,271)	-
計	6,173,729	945,653	7,119,383	(3,271)	7,116,111
営業利益又は営業損失()	373,828	11,392	362,435	7,358	355,077

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	440,395
セグメント間取引消去	85,318
四半期連結損益計算書の営業損失()	355,077

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	日本	米国	タイ	インド	計
売上高					
外部顧客への売上高	6,298,899	3,324,498	1,344,865	-	10,968,263
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,298,899	3,324,498	1,344,865	-	10,968,263
セグメント利益又は損失（ ）	127,032	148,900	53,187	17,253	311,867

平成23年12月にインドにおいて、タナカオートパーツインディア・プライベート・リミテッドを設立したことに伴い、前第3四半期連結累計期間より報告セグメントに「インド」を新設しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	311,867
セグメント間取引消去	113,489
四半期連結損益計算書の営業利益	425,357

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 自動車部品製造

事業の内容 主として当社が受注した製品の加工

(2) 企業結合日

平成24年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

田中自動車部品工業株式会社、田中プレス工業株式会社及び田中技研工業株式会社(当社の連結子会社)を消滅会社、当社を存続会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

田中精密工業株式会社(当社)

(5) その他取引の概要に関する事項

生産拠点の集約、生産管理・一般管理業務の効率化を図り、当社の経営基盤を強化する目的で、当社に再編・集約させることにしたものであります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	26円88銭	22円9銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	262,417	215,632
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	262,417	215,632
普通株式の期中平均株式数(株)	9,760,932	9,760,874

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純損失金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

田中精密工業株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 上坂 善章 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている田中精密工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、田中精密工業株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。